

## 空気攪拌装置による温室効果ガス排出削減事業に向けた基礎調査 空調企業株式会社(宮城県)・株式会社アイシーエイチジャパン(東京都)

### インドネシア国の開発ニーズ

- 温室効果ガス(GHG)排出量が、中国、米国、ブラジルに次ぐ世界第4位の多さである。
- ジャワ島とバリ島ではインドネシア全体の発電電力量の8割を消費し、近年電力不足が深刻化している。

### 調査の内容

- 現地パートナー企業との連携を深め、インドネシアでの販路開拓や生産体制の確立を図る。
- インドネシアにおけるグリーンビルディング認証システム「グリーンシップ」に認定される。
- 実験による電力量削減効果を検証する。

### 中小企業の技術・製品



「ウィンドウィル(空気攪拌装置)」は、①直接電力を消費しない、②室内空気を攪拌する、③室内温度のムラが低減される等の特徴がある。



体感温度が2℃程度下がる等の効果が得られ、空調に係る電力消費エネルギーを約30%削減することができる。また、メンテナンスフリーのため、維持管理費も不要である。

### インドネシア側に見込まれる成果

- 電力量の削減による電力不足を緩和する。
- 温室効果ガス(GHG)排出量を削減する。
- 現地生産体制の構築による雇用の創出及び労働者の生活レベルを向上する。

### 日本企業側の成果

#### 現状

- ジャカルタ特別州を対象に現地パートナー企業の関連先が保有するオフィスビルを主体として輸出販売を行う。
- 基礎調査を通じ、「ウィンドウィル」が現地のグリーンリスティングに認証された。

#### 今後

- 合弁会社を設立し、インドネシアへの生産移管を実施。生産移管時には、委託先樹脂成型会社へ技術員を派遣し、生産技術確立、品質安定化の教育を実施する。